

箕面市の障害福祉サービスについての質問書

2010年7月26日

箕面市健康福祉部 障害福祉課長 殿

支援の必要な中高生の豊かな地域生活を考える会

(略称：スマイルシード)

代表 国仙谷 直美

趣旨

私たちは、昨年10月に、つばさの会（箕面市中学校障害児PTA連絡協議会）をもとに発足した、保護者の集まりです。

活動のきっかけとなったのは、昨年5月に実施したつばさの会・会内アンケート、ならびに9月に実施したゆうやけの会（箕面市小学校障害児PTA）交流会参加者対象アンケートの結果から、放課後・長期休業中の子どもの居場所や送迎の問題が切実なことが分かったことでした。最初のアンケート結果を踏まえて、昨年8月つばさの会から、放課後・長期休業中における箕面市内サービス基盤について、障害福祉課宛に質問書を提出したところ、丁寧にご回答いただき、それをもとに情報提供を行うことができ、大変助かりました。

そこで、今年度は、スマイルシードの立場から、下記の質問を行うことにより、さらなる実態把握に努め、つばさの会やゆうやけの会と連携をとりながら、箕面市内の福祉サービスの充実のために、保護者としてもできる事をやっていきたいと考えています。

各部の活動にわたる幅広い質問になり、お手数をおかけしますが、関係各部署と連携をとりながら調査・回答をお願いいたします。

記

1. 現在、箕面市で生活している18歳未満の障害児の人数と、箕面市全体の人口に対する割合
2. 小・中・高校の学齢期にあたる箕面市在住障害児の所属学校、学級の状況
 - ・箕面市立小学校 支援学級、通級指導教室、の在籍児童数
 - ・箕面市立中学校 支援学級、通級指導教室、の在籍生徒数
 - ・大阪府立支援学校 各小学部、中学部、高等部 の在籍児童生徒数
 - ・大阪府立たまたがわ高等支援学校（共生推進教室ふくむ）の在籍生徒数
 - ・大阪府立高等学校 自立支援コース在籍生徒数
3. 箕面市全体の小・中・高校生の人数に対する、上記2の児童生徒の割合

4. 学童保育所を利用している障害児の人数と、定員に対する割合
5. 箕面市ファミリーサポート事業における、障害児に対する援助活動の実績状況
6. 支援費支給制度を利用している児童生徒の人数（申請者数と実利用者数、支給決定量）
利用の内訳→ ホームヘルプ（家事援助、身体介護）、ガイドヘルプ、ショートステイ
7. 「ささゆり園（放課後教室）」「箕面市立光明の郷ケアセンター 日中一時支援」「箕面育成園 日中一時支援」「箕面市障害者ショートステイ室 日中一時支援」「明光ワークス（放課後教室）」の5箇所について、
 - ① 定員（児童対象の定員）
 - ② 実施時間帯
 - ③ 利用料金
 - ④ 利用可能日数
 - ⑤ 送迎サービスの有無（ない場合、利用者がどのような手段で通っているか）
 - ⑥ 待機状況、利用不可（＝申し込んでも利用できない事例）の件数
 - ⑦ 利用条件、申し込み順なのか何らかの優先順位があるのか、その場合の基準
 - ⑧ 医療的ケアが必要な場合の対応
8. 箕面市外の地域生活支援事業指定事業者で、昨年度、箕面市民の利用実績がある事業所（豊中市の「日中一時支援事業 あすなろ」など）について、7. の①～⑧のうち、分かる範囲で。
9. 上記7-⑤に関して、特に、箕面支援学校から、ささゆり園（放課後教室）に通う方法として、どのようなものがあるのか。
(豊中支援学校では通学バスを使って学校から直接通うことが可能なのは、なぜか)
また、移動支援について、学校や学童保育は使えるのに、放課後教室が使えないのは、なぜか。
10. 箕面市において「短期入所をしているところしか、日中一時支援サービス事業ができない」という基準の根拠と、今後の基準改正などの可能性
11. 「日中一時支援」と「児童デイサービス」の各事業の目的の違いは何か
12. 現在、箕面市で日中一時支援を行っている各事業所間の情報交換や連携の場、また、箕面市とのやりとりの場はあるのか

13. 支援費を利用しない、一時預かりや余暇活動の箕面市内での実施内容（対象年齢、利用条件）と、今後の可能性。

「らいとぴあ21」での「はばたきプロジェクト」

「ライフタイムミント」「サークルわてら」「ハニービー（豊中）」などの団体主催各種事業
（障害のある子どもを対象とした事業）

~~—その他—~~

~~—公民館、図書館などの主催行事で、障害のある子どもが参加可能なもの~~

~~—ボーイ&ガールスカウト、地域子ども会、合唱団、スポーツ教室などの民間企画で障害のある~~

~~—子どもが参加可能なもの~~

14. 「箕面市新子どもプラン（後期計画）」の中で「支援の必要な子どもの放課後や長期休業中等における活動の場の充実」にむけて、今後どのように計画が進められていく見通しなのか。

15. 2005年から国の試行事業として始まった「障害児タイムケア事業」についての、箕面市での評価と、今後の実施可能性の有無

16. 箕面市民が利用可能な「児童デイサービス事業」の実施状況と、今後の可能性

以上

上記の件について、できるだけ早期に、文章をもってご回答いただきますよう、お願い致します。

スマイルシード

代表 国仙谷 直美

箕面市船場西2-23-7-506

072-727-3855（FAX兼）